



2月は暦の上では「春」ですが、今が1年に一番寒い季節です。かぜやインフルエンザが流行する季節です。すくすくひろばでもインフルエンザでの利用病児さんが増えています!!予防対策は、手洗いうがいです。外出した後、食事の前には必ず手洗いうがいをしましょうね。



こばやしDrの

Q&A



年長さんはMR2期の接種期間が3月末までです!!忘れずに受けてください(^^)!

Q.インフルエンザの迅速検査の精度はどれくらいですか？

A.鼻の中を綿棒でグリグリされたり、鼻をかんでする迅速検査。陽性に出ればインフルエンザ確定。他の病気で陽性に出ることはありません(特異度100%)。

一方、インフルエンザに罹っていても陽性に出ないことがよくあります。A型は3人に2人(感度60-70%)B型は2人に1人(感度50%)しか陽性に出ません。

熱が出て受診、迅速検査陰性。高熱が続いて心配で次の日にもう一度検査すると陽性。二日続けて検査された方も多いかと思えます。ウイルスが少ない病初期も出にくいです。

そこで、私ならこうします！

- 1)インフルエンザかどうかははっきりさせたい際 ⇒ 発熱後24時間を経過してから受診、検査希望。
- 2)辛い際/辛くなるのを避けたい際 ⇒ 発熱後すぐに受診、インフルエンザ治療薬希望。

Q.インフルエンザ治療薬投与後、子どもに異常行動がみられることはありますか？

A.異常行動はインフルエンザ治療薬が使用されていなくても報告されています。

両親がわからない。自分の手を噛む。幻視・幻覚的訴えをする。

意味不明な言葉を発する、ろれつがまわらない。おびえ、恐怖。

急に走り出す、大声で歌いだす。このような異常行動がインフルエンザに罹った子どもの約10%にみられます。

ほとんどが発熱1~2日目にあらわれ、解熱すれば無くなります。

インフルエンザ治療薬使用の有無にかかわらず、インフルエンザに罹ることで異常行動

がみられます。ですので、子どもさんがインフルエンザと診断された際は、解熱するまでは、

異常行動による事故を防ぐために、自宅で子どもさんが一人にならないように注意してください。



先月の利用状況

1日あたり(~人)

A型インフルエンザ、鼻副鼻腔炎、咽頭扁桃炎、インフルエンザ性咽頭炎、胃腸炎 (多い順)

	全体合計	0~3歳未満	3歳~5歳未満	5歳以上
高砂市	104人	36人	19人	49人
加古川市	49人	21人	12人	16人
その他の市	10人	2人	4人	4人
合計	163人	59人	35人	69人

* * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *
 * * * * *

病児保育室の詳しいご案内は
こばやし小児科ホームページを
ご覧ください♪
(院長のブログも掲載中!)

パンフレットも受付にあります!
お気軽に声を
おかけくださいね(〇〇)